

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス フラワーパーク			
○保護者評価実施期間	2024年 8月 5日		～	2024年 9月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数)	17
○従業者評価実施期間	2024年 8月 5日		～	2024年 9月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 9月 11日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	学習など児童の様子の把握、保護者との共有に関しては保護者から高い評価を得ている。	職員全体で児童の現状の把握に努め、毎日の朝礼時や普段の終業後の共有など、職員間で密に情報共有を行うことで、それぞれの児童の実態の共通理解や今後の支援の方針を共有する機会を持っている。	今後も共有を密に行うことについては引き続き行い、それに加えて、児童の様子などに関するミーティングも細目に開催する。 また、保護者への申し送りの際も児童の家庭での様子など情報共有を行ってより児童への理解に努めたい。
2	評価から見て子どもが安心して通える場となっている。	子ども一人一人の様子の把握はもちろんの事、悩みごとの相談やそれに付随する保護者との連携などそういったことを細かく行うことで保護者の方々からも安心して通える場所として高い評価を得ている。	これに関しても引き続き、現状の児童への配慮、保護者への気配りなども包括的に考えて行う。これに加えて保護者も安心して通わせられるようにより細かく様子などを伝えられるように努めたい。
3	幅広い年齢層、性別の児童が在籍している。	児童間での関わりを促し、高学年の児童が低学年の児童に学習を教えたり一緒に関わって遊んだりすることが多い。また事業所としては女の子の割合も多く、性別関係なく遊ぶ姿や、それぞれの性別同士での関わりなども育まれやすい。	高学年の児童の教え方についてこちらが支援を継続することで低学年の学習を教える機会もでき、どちらの児童の成長にもつながるようにしていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者の交流機会の不足	コロナ禍の影響もあり、保護者参加型のイベントや茶話会など開催する機会が無くなっており、保護者が普段の児童の様子や保護者同士のつながりなどを作る機会が無くなっている。	現在、調理学習のイベントや制作イベントでの保護者参加型のイベントを検討中。児童の普段の様子や保護者との交流も含めて検討していく。
2	子どもの活動場所の確保について	当事業所も10周年を迎え利用者の児童の年齢層も上がってきており、体も大きくなってきているため、利用人数が多くなると、どうしても活動スペースが限られてしまう。	同施設内で協力していただき、高学年は学習の際、隣の部屋を使わせていただくなどして工夫を行っている。
3	地域の児童との交流について	他事業所との交流などは定期的に行っているが、そういった活動が土曜日に集中していることもあり、参加機会が少ない利用者もいる。	現在は長期休暇などを利用し、他児童との交流イベントを開催を計画中である。また、以前も行った未就学児とのお仕事体験という形でおこなった交流イベントも、今後、継続して行えるように計画中である。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス フラワーパーク

公表日 2024 年 10 月 28 日

利用児童数 28

回収数 17

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	4	1	1	・もう一室あれば。 ・普段どのように学習し遊ぶスペースを区切られているのか分からない。	・部屋割りにについては学習室などを活用して行っている
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	16	1			・いろんな先生方に見守られながら過ごしていると思います。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	1	2	2	・エレベーターがない ・自分の荷物を忘れ物なく持ち帰ってくるので、本人にとっても分かりやすく工夫されているのだと思います。 ・階段が滑りやすいと思う。	・2階までの施設である為、エレベーターの設置は困難。 ・階段に関しては滑り止めのテープなどの貼り付けを検討中。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13	3		1	・フラワーパークにお迎えに行くと、子どもたちが作った作品が飾ってあったりと楽しい雰囲気です。	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	2			・分かりやすい言葉で伝えてくださってありがとうございます。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13	2		2		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15	2			・子どものことを本当によく理解してくださっていて、スモールステップで課題に取り組んで頂いています。	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16	1			・家庭の事情を知っていただいていて、私ではどうすることもできない時、いろいろな提案をしてもらい、助かりました。	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17				・学習では、ひらがなや足し算の定着を目指して、何度も繰り返し指導してくださっています。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	3			・色んな事があって本人も楽しみにしているようです。	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	4	1	2	10	・まだ入所したばかりでわからない	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16	1			・はい。分かりやすい説明をしてくださいました。	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17				・面談で確認しながら説明を受けています。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	1	3	9	・入所したばかりだが懇談があると聞いています。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	17				・はい。送迎時に今日はどんなことをしたかなど、丁寧に教えてもらっています。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14	1		2	・お友だちとのトラブルも些細なことでも教えてもらっているので安心していきます。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14	2		1	色んな先生が娘を見舞ってくださっている、本人の性格を知ってくださっていて助かります。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2		4	11	・入所したばかりでわからない	・今後保護者も参加型のイベントを検討中。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	3		1	・夏休みに朝の時間の都合がつかずに困っていたら、先生が提案してくださって休まずに通うことができています。ありがとうございます。	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	1		1	予定の変更などLINEでつたえることができ、助かります。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14	3				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15			2	・入所したばかりでわからない	・鍵付きのキャビネットの使用など重要な個人情報には留意している。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	1		2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15	1		1	定期的に避難訓練をされていて、本人も説明を聞き、落ち着いて避難できているようです。	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16			1	・入所したばかりでわからない	・熱中症、感染症対策に加え日々の保護者への共有などを通して十全に安全に配慮できるよう努めている。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16			1	少しの怪我も説明してくださり安心して預けることができています。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	17				・はい。フラワーパーク大好きです。休みの日も行きたがります。 ・放課後の居場所として安心して過ごしています。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	13	4			・行事のための準備も楽しく取り組んでいるようです。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	16	1			・大満足です。いつもありがとうございます。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
放課後等デイサービス フラワーパーク		2024 年 10 月 28 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1	学習室を設けたり、隣の部屋を使用したりなど工夫は行っている。 利用児童数に応じた配置をし、各児童の行動が見られるようになっている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	2	利用人数に対しての人員配置は適切にされているが、スタッフが少なく感じる時がある。 もう少し増やすのも検討	・職員の人数を増やす
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	児童の特性に応じた環境を整えるようスタッフの協力のもと行われている。	・外の階段が雨の際などすべりやすく、危ない。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	2	・最近部屋の模様替えを行い、児童が片付けやすいように配置を工夫しなおした。 ・児童の登所前の清掃、利用後の簡易清掃が行われている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1	・テスト期間中は隣室を使うなど、必要に応じて配慮をしている。	・状況に応じて用意はできているが常に利用できる環境ではない。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7		・月に1回以上の会議を行い、児童の様子や支援についてなど話し合う場を設けている。 ・情報の共有とともに取り組む課題、成果、問題点など朝礼や会議で考慮している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	・現在、保護者参加型のイベントを思案中である。 ・定期的に保護者との会合を設け情報を共有している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	・毎朝の朝礼に加えて月に1度以上定例会議を行いそういった場を設けている。 ・朝礼、会議業務後の会話の中で意見を交わしている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	3		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	3	・自分たちで研修を希望し参加することができている。	
適切	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		・必要に応じて支援員が閲覧し、内容を確認できるようになっている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		支援員に意見を募り、計画書を作成している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		支援員間の情報共有がなされており、意見をよく検討している。	・作成は主に児発管が担当しており、作成の際に意見を募るというような形をとっている。常日頃からの共有、会議などでの意見交換をより活発に行う必要がある。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1	口頭やLINE等での情報共有がフォーマルにとられず、行われている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			

な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		・月一の会議の際に意見を募り行っている。 ・定例会議において立案がなされている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		保護者の要望や、児童の要望に沿って固定されたイベントはあるが、その他のイベントは様々な物を行うよう心掛けている。 定例会議や、業務後に時間を用いてなされている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		毎朝朝礼を行い児童の様子、イベントなどについて共有を行っている。 積極的な情報共有と立案がなされている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		共有を行い、支援の振り返り等の話し合いは定期的に行っている。基本的には朝の朝礼で話し合う形をとっている。 積極的な情報共有と立案がなされている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		毎日の業務日誌に記載している。 個人的なメモ等を作成して支援を行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		半年に一回のモニタリングに加え、月一回のミーティング内で児童について話し合う場を設けている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		基本的には児童発達支援管理責任者が参加し、必要に応じて支援員が同行したり、様子共有内容についてなどの話し合いをし、意見をのべるようになってきている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	保護者より、かかりつけ医等の連絡先は把握している。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	1		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	1	必要に応じて連携をとっている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	3		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		送迎の際など毎回申し送りを行い、必要に応じて電話でのお知らせや、日々の様子の共有を行っている。 支援後の申し送りの際に、児童が目標としている点を行えたか伝えている。	

	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。				職員間でもそういった意見は出ているが、こちらからの発信には至っていない。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		利用前の保護者との面談により必要な点が伝えられている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		保護者、児童の意見を踏まえ、作成を行っている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		保護者の要望に応じ、進路に関してなどの相談を行うこともある。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		7		保護者参加型のイベントや保護者会などを現在検討している。 目下、現事業所の目標として取り組み中。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		相談の申し入れに関しては日程を合わせて、面談を行い、職員間での共有なども行っている。 支援後の申し送りの際に定期的になされている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		インスタの更新をほぼ毎週行っている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		個人情報に関してじゃ鍵付きのキャビネットを設けるなど留意している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		SNS等を使用し必要に応じて情報の共有等を行っている。 各スタッフのコンシデレートが徹底されている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	4	下階の事業所との交流などの機会がある。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		毎月1度の避難訓練の日を設け、様々な想定や訓練を行っている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		定期的に避難所への移動訓練なども行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		保護者と共有し、対応マニュアルを作成している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		共有と再発防止を行っている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	1	毎年一度の研修を行い、虐待防止に取り組んでいる。	目下事業所として行う日程を検討中。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	1		目下事業所として行う日程を検討中。